

# 未来



全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中郵支部  
機関紙・「みらい」  
NO. 4379  
23年9月5日(火)  
Tel・Fax 095-828-1953  
文責 支部書記長

# 九州地本定期大会開催



おはようございます。  
郵政産業労働者ユニオン九州地方本部は、2023年9月2日、福岡県労連会議室にて「第12回定期大会」を開催しました。各支部から代議員が出席、支部からも7人が出席しました。  
まず最初に、米地執行委員長より挨拶がありました。特に強調されたのは、郵政労契法20条裁判判決に対しての不誠実な対応の事でした。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員、希望者全員が正社員化を。

めげず、均等待遇、なげなう差別！

ユニオンは労契法裁判に勝利するぞ！

弁護団の尽力と多くの支援により最高裁で勝利し、各地の集団訴訟でも勝利和解を勝ち取りました。しかし日本郵政は最高裁判決を歪曲しJP労組と労使一体となつて、正社員の待遇引き下げにより格差是正を遂行しようとしている。また、10月1日より実施される正社員の夏期冬期休暇の削減にも触れ、JP労組の責任は大きい」と訴えました。

本部からは、石野執行委員が参加されて「決してあきらめないファイティング姿勢」で活動に臨んでほしいと力説されました。

議案討議では、各職場から労働者のおかれてくる厳しい現状が報告されました。抜粋して紹介します。

○非正規社員の現状  
23春闘において非正規社員の要求に対しては「ゼロ回答」。  
特別一時金が支給されたと言っても昨今の物価上昇に全く追いついてない。賃金改善は最低賃金の動向次第という姿勢には憤りを感じる。

○郵便労働者の現状  
郵便の土曜日配達の見直しは、月曜日の郵便増となり労働条件の悪化を引き起こしている。  
Deatについては、本来の運用目的ではない監視ツールとしてしか使っていない職場もあり、精神的負担の増加で労働環境も悪化している。

○郵便窓口労働者の現状  
営業の数字が具体化され、個人での実績が求められるようになってきている。  
半面、お客様への説明などに時間を取られるこ



○ゆうちょ銀行の現状  
業務のデジタル化が急速に進められており利用者が直接、必要情報を窓口タブレットに入力する

とが多くなった。責任者に了解を得てからでない説明すらできないものもある。簡単に説明できないようなマニュアルの整備をしてほしい。

2023年度 郵政ユニオン九州地方本部 役員体制

役職	氏名	所属
執行委員長	米地輝高	福岡中央
副執行委員長	原田芳博	長崎中央
書記長	田尻哲一	福岡西
執行委員	松野 浩	北九州中央
	村谷完二	福岡貯金
	前田節二	長崎中央
	谷瀬順治	玖珠郵便局
	佐田 剛	長崎中央
会計監査	山内みどり	長崎中央

ので、不慣れな場合手続きに時間がかかる場合がある。しかしデジタル化で窓口要員が大幅に削減され、その影響で利用者にとっては待ち時間が増える結果となった。



議案討議ののち、新たな執行体制を確立し、2023年度をスタートすることになりました。  
大会は最後を「団結ガンバロー」で締め終りました。

大会で出されたように、各職場では日々さまざまな問題がおきています。誰もが安心して働ける職場を作るためには、私たち郵政ユニオンが職場に存在し、改善を求めていく活動を続ける事の重要性を感じました。

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。  
1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

郵政ユニオン長崎のホームページはこちら

